



# 浮間小 だより

令和2年度

3月号

2月27日

北区立浮間小学校

校長 宮崎 史隆



浮間小HP QRコード

★よく考え 進んで学習する子★

★仲良く すなおで明るい子★

★じょうぶな体で がんばる子★

冬きたりなば春遠からじ(つらい時期を耐え抜けば、幸せな時期は必ず来る)

校長 宮崎 史隆

昨年3月2日の全国一斉臨時休校から1年になります。この間、学校では感染症対策に気を配りながらも、子供たちはかけがえのない学校生活を送ることができました。保護者・地域の皆様のお力添えに心より感謝申し上げます。今月もよろしくお願い申し上げます。

年末に浮間小学校の子供たちが送った医療従事者の方々への手紙(病院内に掲示されました)に対して、2月末に昭和大学病院、昭和大学付属東病院からお礼の手紙をいただきました。医療の最前線で懸命に私達の命を守ってくださっている方々の温かい言葉にはとても心を打たれました。

特に「応援ありがとうございます。冬来たりなば春遠からじ。辛い時期の後には必ず良い時期がやってきます。みんなで力を合わせて頑張りましょう!」というメッセージにはとても勇気づけられ、2月22日の全校朝会(放送)で児童に紹介しました。

全文をホームページに掲載(病院の許可を得ています)しましたのでぜひご覧ください。

さて、3月11日は東日本大震災から10年となります。午後2時46分の発災時に私は校舎1階(滝野川紅葉中学校)の職員室にいました。経験したことのないほどの大きな揺れでした。校庭に避難してきた女子生徒は何人が泣いていました。3年生は東京ディズニーランド(卒業遠足)で被災し、帰校は翌日の昼過ぎとなりました。全員無事に帰れたのが何よりでした。

しかし、東北地方を襲った大津波と火災により15,899人の方が亡くなり、2,527人の方が今なお行方不明となっています。その後被災地を訪れる機会があり被災された方から直接お話を伺う機会を得ましたが、震災が風化していくことや関心をもたれなくなることがいちばん辛いと語っておられたことが心に残っています。

## 【想像力を働かせて児童の様子を見ること】

2月8日に東十条にある療育機関キッズタウンアトリエの杉浦悦子先生をお迎えして研修会を行いました。学童保育・わくわく浮間ひろばの代表の方、浮間保育園長様にも参加いただき、発達に多くの課題があり支援を要する児童の対応について大切なご示唆をいただきました。

子供たちへの指導の基本として、困った行動を叱るのではなく正しい行動に導くこと。生まれもった個性や特質自体を変えるのは間違っていること。変えることができるのは、大人の対応不足によって、身に付けてしまった問題行動であること。私達は想像力を働かせて児童の様子を見ることが何よりも大切であることを学びました。

3月の行事予定				16	火	浮T	6年生を送る会 6年卒業を祝う会(6年は5校時終了後下校) 6年保護者会
日	曜	朝	行 事	17	水	浮T	6年地域清掃③
1	月	全校朝会	6年日光代替活動(鎌倉)	18	木	浮T	
2	火	浮T	安全指導日	19	金	児童集会	
3	水	浮T	6年地域清掃①	20	土		春分の日
4	木	浮T	委員会活動	21	日		
5	金	児童集会	6年地域清掃②	22	月	全校朝会	お別れ朝会
6	土			23	火	浮T	給食終
7	日			24	水		修了式 卒業式リハーサル
8	月	全校朝会	特6 2年保護者会	25	木		卒業式(6年生のみ登校)
9	火	浮T	保健指導日 1年保護者会	26	金		春季休業日始
10	水	浮T	6年5組浮中体験授業 5年保護者会	27	土		
11	木	浮T	避難訓練 登校班編成 クラブ活動	28	日		
12	金	さくらんぼ	5くみ卒業進級を祝う会 5くみ保護者会	29	月		
13	土			30	火		
14	日			31	水		
15	月	全校朝会	特6 3、4年保護者会	毎週土曜日はPTA廃品回収日です			

## 「6年生に向けて」

5年担任 田澤 恵理子

今年度は「6年生を送る会」が3月16日に延期となりました。そのため例年より6年生からの校旗と仕事の引き継ぎが遅くなります。しかし、3月17日から校旗当番や朝礼でのあいさつを5年生が担当します。

総合的な学習の時間には「チャレンジ・チェンジ・チャンス～バトンを受け継ごう～」の単元で、6年生にインタビューをして「6年生として大切なこと」を考えたり、3年生にむけてのクラブ紹介ビデオを作成したりしています。

今年度もあと1ヶ月。6年生から「最高学年」のバトン受け取り、しっかりとつないでいきます。

【6年生に向けて5年生の意気込み】

- ◇学校のみんなを引っ張っていく6年生になりたい。
- ◇下級生に優しく接するように心がけたい。
- ◇班長、委員長、クラブ長として、みんなに声をかけられるようにする。

「アンガーマネジメント講座について」 2月24日3・4校時に、4年生を対象として同講座を開催しました。講師には中村真理子先生(教育カウンセラー)をお招きしました。子供たちにはめあて(目標)として、下記のうち一つでもこれからの生活に生かしてほしいと願っています。

- ①怒りをコントロールできるようになろう
- ②怒りの感情を爆発させない方法を学ぼう
- ③キレられた時の対応を学ぼう
- ④キレている人は周囲の人にどう見られているかを知ろう

中村先生からは、怒りの感情をコントロールすることを柱に、怒りの上手な伝え方やキレられた時の対応などについて具体的にお話いただきました。また、ロールプレイ(役割演技)も行い、1回目の川谷内先生(ぶつかられた岩村先生に怒りをぶつける役)の迫真の演技に、会場から「こわい」と声が出るほどでした。2回目は代表児童による演技でしたが、ともに怒っている人を見ると感情がザワザワと乱されることも体感することができました。子供たちの感想から、「ぼくもたまに家族にカッとなってしまいますが、本日の授業を受けて友達や家族などの感情や言葉などを振り返ってみようと思いました。(男子)」など、多くの児童が前向きに自分を見つめていることが感じられ、とても嬉しく思いました。